



赤ちゃんの栄養に関する世界的な取り組み



こんにちは！BFHプロジェクトチームです。今回は上記についてお話します。乳児期の栄養法は、その後の発育や感染症、肥満などに影響するため、世界共通の課題とされています。

赤ちゃんの栄養に関する取り組みである「世界的な運動戦略」は世界保健総会とUNICEFに支持されています。

「世界的な運動戦略」の目的は、最適な栄養法を通じて、乳幼児の栄養状態・成長発達・健康の改善、そしてその結果として生存率を改善することです。

「世界的な運動戦略」は生後6ヶ月間は完全に母乳だけで育てられること、その後、月齢に合わせて十分な量の安全で適切な栄養を含んだ補完食(いわゆる離乳食)を与えながら、母乳育児を2年かそれ以上続けることを支持しています。また母親が十分な栄養をとれること、社会や地域で(母親が)サポートされることを支持しています。



世界・日本におけるBFH認定施設

赤ちゃんに優しい病院(BFH: Baby Friendly Hospital)は、母乳育児成功のための10ヶ条を実践している産科施設に対する認定です。

世界各国で約20000以上の施設で認定されており、日本国内では2015年8月現在、72施設が認定されています。

私たちの住む岩手県では、盛岡にある

★黒川産婦人科

またお隣、宮城県仙台市では、

★仙台市立病院

★仙台医療センター

★東北公済病院

が認定されています。

もはや、BFHは世界のstandardであり、産科を有する施設のstatusと言えます。

ぜひとも病院全体でのご支援をお願いします!!



今後の活動予定

- 4月 出産後30分以内の授乳ケアの見直し
- 5月 各セクション出張勉強会
- 6月 //
- 7月 母乳育児シンポジウムの参加と発表(in新潟)
- 8月 BFH申請準備開始、活動見直し、データ整理
- 9月 日本母乳哺育学会の参加と発表(in盛岡)
- 10月 BFH申請準備
- 11月 BFH申請!!



お問い合わせ

この通信の内容に関するだけでなく、現在妊婦の方、妊婦の家族や上司の方、育児中の方、育児中のお母さんを持つ家族の方の、母乳に関する様々な相談もお受けいたします。また、月1回発行予定の本通信に掲載させていただける皆様のかわいいお子様の写真も募集中です！どうぞお気軽にご連絡ください。

BFHプロジェクトチーム

チームリーダー : 今野貴子(3西病棟)

通信発行担当:(3西病棟)

